

はっぽう

議会だより

地域の無火災を願って
(消防出初め式ラッパ隊)



12月
定例会

- 新年の挨拶 2ページ
- 12月定例会ダイジェスト 3ページ
- 町政を質す（一般質問要旨） 6ページ
- 一般質問 7ページ
- 付帯意見回答・臨時会 14ページ
- 議会全員協議会 16ページ
- 四方八峰・編集後記 18ページ

四方八峰

(町を元気にする団体紹介シリーズ)No.11

望海クラブ

代表 加藤 昇さん

活動を主催するのは「望海クラブ」（以下、「クラブ」）。

平成10年に地域の草刈りによる活動を通じて地域貢献と会員の親睦を目的として設立し、現在20年以上に亘る第8代目の会長から伺いました。

毎年、春に糠森山の麓から望む日本海の眺望のイメージを壊さないためビューシーラインの缶拾いの清掃活動から始め、6月には参拝者もなく忘れ去られている「山の神」神社周辺の草刈りと社殿内の掃除、8月は茂浦地区の墓地内及びその周辺の草刈りなどの活動をしています。

また、毎年本館で行われる「たいまつ祭り」の前に本館城跡地の草刈りも行ってきましたが、コロナ禍で行事が中止になり祭りのご招待がないのを残念がっていました。

クラブ会員11人が数時間かけて周辺を中心にさっぱりさせると「こんなに変わるとはびっくり」とみんな感動するし、その後に行われる会員の交流会が何より楽しみで続けられるそうです。

草刈り機を持参しているクラブ員の一人は「いい運動だし、無になれる上に、感謝もされる。交

流会でいろんな人と知り合えるのもいい」と話していました。

会長の加藤さん（69）は「草刈りは一人だとくじけるが、仲間とやればきれいになる達成感や地域課題の問題意識を共有できる」と、呼び掛ける側から見ても、関心の高さは予想を超えるといいます。

草刈りの作業は高齢化と普段の運動不足もたたり、かなり体力を消耗しますが、きれいになった刈り後を見るとそんな疲れもふっ飛び充実感がわくそうです。

コロナ禍で活動が制限されていたけれど、今年こそ何ら支障のない状況で活動して行けることを願っていると話していました。

(記 山本)



● 議会広報編集委員会

委員長 皆川 鉄也
副委員長 笠原 吉範
委員 山本 良子
委員 山本 優子
委員 山本 悦

(記 腰山 良悦)

「デルタ株」によるコロナ感染も収束の兆しが見えてきました。新たな変異ウイルス「オミクロン株」の感染が急速に拡大しており、心配されます。これまでどおり、心配に努め、一日も早い終息を願っております。

12月議会は、新年度予算、町長の進退、商工会による町づくり協議会、漁業支援など一般質問の内容が注目され、商工・漁業関係の傍聴者が多い、これまでにない緊迫した議会でした。

今季は、11月の時化などにより底曳き船が出漁できず、「季節ハタハタ」が獲れるか心配されましたが予想通りに接岸し、漁師や消費者もほっとしたと思います。しかし、高値の上あつという間に漁も終わり、買い求めるにも思う様に手に入らない人もいたようです。

編集後記

寅年の新年を迎えて



八峰町議会議長 門脇 直樹

新年明けましておめでとうございます。

昨年より、週末ごとに数年に一度クラスの寒波に何度も見舞われ、例年の数倍に上る積雪に、どなたも年末年始はひたすら雪かきに追われたことと思います。しかしながら、年末にかけて、新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いていたことで、数年ぶりに心穏やかで、かつ、賑やかな家族団らんのひと時を過ごした方も多く

いらつしゃったと思います。少しだけ日常が戻りつつある喜びで令和4年の幕が開きました。

さて、皆さんは最近ニュースでSDGs（エスディージーズ）という言葉を目にしたことはないでしょうか。SDGsとは2015年国連にて採択されたものですが、世界中で貧困や飢餓、差別をなくし、教育、福祉を充実させ、自然を守り、災害に強く、経済を維

持発展させ、平和が持続する社会を実現していこうというものです。

近年日本だけでなく、「公より個の優先」が社会において話題になることが多くなりました。そんな中、SDGsの実現に向けた取り組みとともに、思いやりの心、相手を想う心、互いに手を取り合う社会が目ざれ始めています。

しかしそれは、私たちが普通に暮らしてきたこの町に、地域に、すでに存在していることではないでしょうか。コロナ禍においても、個々の楽しみより、周囲への配慮を優先する心、ほんの少し周りを見渡す心の余裕、そうした小さな積み重ねが、よりよい社会、暮らしやすい地域を作っていくのだと確信しております。そして、その気持ちそのものが、すべての礎となつ

ていくのではないのでしょうか。

そんな簡単なこととは思いません。そして難しいことですが、今年も当たり前のことに感謝できる日常を、事故無く過ごしていけますように願っております。本年も、町民の皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

八峰町議会議長 皆川 鉄也
議員 水木 壽保
同 山本 優人
同 奈良 聡子
同 腰山 良悦
同 須藤 正人
同 芹田 正嗣
同 見上 政子
同 菊地 薫
同 笠原 吉範
同 芦崎 達美
(議席番号順)

12月 定例会 ダイジェスト



議会風景。起立により採決を行う様子

12月定例会は12月15日(水)から17日(金)までの3日間の日程で開催し、条例改正及び、補正予算の議案9件が上程されました。そのほか、条例・規則改正の議案2件、意見書発議5件を審議し、可決されました。一般質問では、7人が登壇し、町政を質しました。

補正予算

稲作農家への緊急支援事業等 補正予算を可決

(令和3年度一般会計補正予算(第5号))

補正予算の主な内容

●八峰町稲作農家緊急支援事業補助金1097万3千円追加

令和3年産主食用米の概算金下落が農業経営に多大な影響を与えていることから、令和3年産水稲作付に係る種子代の一部について緊急的に支援する事業。主食米作付面積10a当たり千円を補助単価とする。(令和3年の作付面積：約1097・3ha)

●生活応援暖房費助成事業780万円追加

原油価格の高騰に伴い灯油価格が上昇し、本格的な厳寒期を迎え家計に大きな影響を与えることから、町民税非課税世帯に灯油購入費を助成する。1世帯当たり6千円を支給。

●子育て世帯臨時特別支援事業2361万9千円の追加

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯支援として、児童手当受給者へ児童1人当たり一律10万円を給付。

●その他、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため取りやめた事業予算の減額等
(すべて全員賛成で可決)

議会から町へ(質疑)

質問 暖房費助成事業は県内の他の市町村も同様に行うようだが、もつと八峰町独自の支援を行う考えは無いか。

答弁 例えば、1人暮らしの高齢者が増えている中で地区のコミュニティセンターや集会所を開放し、いつでも集まって話などができるようにしてはどうか。家での暖房費がからなくなる他に、日中1人になる高齢者は安心して過ごせるのでは。

質問 巡回バスの降車チャイム購入費16万9千円追加とあるが、強風の危険のある海岸線に待合室を作る考えは。

答弁 待合室については、試験運行の中で、利用人数やルート上で強風となる場所を調査・検討しながら対応していきたい。

質問 債務負担行為補正に「地方公務員の定年

延長に伴う新制度支援業務」とあるが、どのような業務か。

●答弁 地方公務員の定年延長に伴う新制度は大きく2つ。①60歳で役職定年を設ける、②60歳を機に定年まで短時間勤務に切り替えることができる。

●見上 60歳を迎える職員に対し意向調査を行い、定年までの働き方について決定する作業等が必要となり、関連する例規の整備事業を委託する。

その他特別会計等補正予算

●令和3年度八峰町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号) 155万8千円を追加
主な歳出：介護認定審査件数増による認定調査業務委託料などの追加

●令和3年度八峰町営診療所特別会計補正予算(第2号) 38万4千円を追加
主な歳出：新型コロナウイルスワクチン接種のための来所者の増による事務費の追加

●令和3年度八峰町簡易水道事業会計補正予算(第3号) 26万2千円を追加

●令和3年度八峰町下水道事業会計補正予算(第3号) 522万5千円を追加
主な歳出：農業・漁業排水施設の工事の実施

秋田県労働組合総連合
内閣総理大臣、厚生労働大臣に意見書を提出
(全員賛成で採択)

●介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める国への意見書提出の陳情

反対討論

●山本 国は介護保険制度の持続可能性維持の責任を国民に押し付けたとあるが、これは逆で、家族の介護が難しい人が国に介護保険制度としてお願いしたのが本来ではないか。また、介護従事者の給与が全産業の平均と比べると安いとあるが、どこの地域のどういった産業平均か明確にすべき。給与引上げの財源を全額公費負担とすることも、他の税金や保険料の増につながるため反対。

賛成討論

●見上 介護従事者は過酷な仕事の割に賃金は少ない。介護従事者が足りないことで、介護離職等の問題につながる。介護保険料や介護サービス利用料を改めていかなければ、高齢者社会は乗り切れない。
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣に意見書を提出
(賛成多数で採択)

に伴う追加

(全て全員賛成で可決)

一般議案

●八峰町公告式条例の一部を改正する条例制定について

町内の掲示場の数を3カ所から1カ所とする。

●八峰町墓地条例の一部を改正する条例制定について

町営岩館墓地の地番変更。

●八峰町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

出産育児一時金の額の引き上げ。

●八峰町ぶなっこランド条例の一部を改正する条例制定について

バーベキューハウスの解体に伴う、使用料規定の見直し。

(全て全員賛成で可決)

発議

議員の政治倫理条例を改正 議員のなり手不足解消へ

(八峰町議会議員の政治倫理確立に関する条例の一部を改正する条例制定)

改正の内容

既存の政治倫理条例の一部を規制緩和し、政治倫理基準違反があった場合の審査委員会設置の規定を新たに設ける。

①町長との工事等請負契約について締結を辞退する対象を、「本人・配偶者・2親等以内の親族が経営に携わる企業」から、「本人・配偶者・1親等以内の血族が経営に携わる企業」に改正する。

②議員が就任してはいけない対象を、「町から直接補助金等の交付を受けている団体の役員」から「長(職務代理者を含む)」に改正する。
③政治倫理基準違反をした疑いが認められる議員がある時は、請求により審査委員会を設置することができる規定を設ける。

(全員賛成で可決)

●この他、採択された陳情の意見書及び「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」等の発議が提出され、可決されました。

陳情

採択された陳情

●安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るため国に意見書提出を求める陳情

(提出者 秋田県医療労働組合連合会)

反対討論

●山本 75歳以上の医療窓口負担2割に反対とあるが、相当の収入がある高齢者もいる。それを一律に1割負担とすると、未来を担っていく若者の負担となる。

賛成討論

●見上 ここで医療窓口負担2割を認めると、弱者に対する負担がより大きくなる。
内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣に意見書を提出
(賛成多数で採択)

●精神保健福祉の改善について国に意見書提出を求める陳情

(提出者 秋田県医療労働組合連合会)
内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣に意見書を提出
(全員賛成で採択)

●安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康をまもることを国に求める意見書提出の陳情

(提出者 秋田県春闘共闘懇談会)

賛否が分かれた陳情・発議の採決結果

○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた陳情・発議を掲載しています。その他の議案はすべて全員賛成で可決・採択されました。

	水木壽保	山本優人	奈良聡子	腰山良悦	須藤正人	芹田正嗣	見上政子	菊地薫	笠原吉範	芦崎達美	皆川鉄也	門脇直樹	議決結果
安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るため国に意見書提出を求める陳情について	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	議長は採決には加わりません	採択
介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める国への意見書提出の陳情について	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○		採択
安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための意見書について	○	●	○	○	●	○	○	○	●	○	○		可決
介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険度への転換を求める意見書について	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○		可決



笠原 吉範 議員

中浜地区中心部整備事業のスケジュールでは、令和4年7月の公募開始となっているが町が考えている公募条件は、また中浜地区活性化のため、地域行事や避難訓練への参加、消防団への加入を公募条件に

笠原

中浜地区中心部整備事業

町長

町が行う宅地分譲は応募者に対し、自治会活動に積極的に参加するとともに、八峰町の生活文化・自然環境への理解を深め、移住者としての自覚を持ち、より良き地域住民となる

加える考えは、町が行う宅地分譲は応募者に対し、自治会活動に積極的に参加するとともに、八峰町の生活文化・自然環境への理解を深め、移住者としての自覚を持ち、より良き地域住民となる

よう努めることなどを記載した誓約書の提出を求めている。中浜地区分譲地でも同様の条件を検討している。避難訓練の参加は、可能な限り参加に努める旨を誓約書に追加することを検討する。消防団への加入については、特別職の公務員であり、入団・退団は義務や強制ではなく本人

の自由意志によることとされており、公募条件に加えることは出来ないと考えます。

笠原 漁業者・農業者が原油高の影響を受けている。漁業では操業を見送る日も多く、その対応に苦慮しているとの報道があり、農業においては、シイタケ栽培農家が「コロナ禍で低迷

した価格が冬場の需要期を迎え回復傾向にあったが、灯油価格の高騰で経営が苦しい」と話している。漁業者・農業者に支援の考えは、漁業で一番影響を受けているのは底曳き網漁

原油高 漁業者・農業者に支援を 町長 国・県の支援策を注視

で、一回の操業で約4000の原油が必要だと聞いている。漁業者への支援は事業継続臨時交付金として37件、1474万7千円を助成し、うち底曳き網漁業者には7件、350万円を助成している。シイタケ栽培では、灯油価格が例年の1.5倍ほどかかり、厳しい経営状況にある。峰浜培養では、ホダ木単価を2円値引きする支援を実施し、JA秋田やまでもともパックセンターで1パック当たり2円の特別助成を行っている。

今後は、国や県が打ち出す支援策を注視しながら対応を検討する。



八森漁港 底曳き網船

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!! 7人の議員が一般質問

一般質問では7名の議員が町政について質問しました。

p7 笠原 吉範 議員

- 1 原油高の影響を受けている漁業者・農業者への支援について
2 中浜地区中心部整備事業の宅地分譲公募について

p8 奈良 聡子 議員

- 1 町営住宅の入居条件について
2 灯油代の補助について

p10 山本 優人 議員

- 1 町の将来予想図について
2 大胆な産業構想について

p12 須藤 正人 議員

- 1 来年4月町長選の改選期を迎えるが2期目挑戦の決意は
2 令和4年度の予算編成方針について
3 商工会主催の町づくりと経済の未来を創る協議会について

p9 見上 政子 議員

- 1 福祉灯油の実施を
2 投票困難者に郵送投票のすすめを
3 介護利用料の負担軽減
4 精神障害者の自立支援

p11 水木 壽保 議員

- 1 認知症対策について

p13 菊地 薫 議員

- 1 新型コロナ対策について
2 持続可能なまちづくりについて
3 八峰町町づくりと経済の未来を創る協議会について
4 作り育てる漁業について
5 鹿の浦から見る洋上風力について

一般質問とは?

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。本町では、効率的な議会運営のため質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に沿って質問します。質問時間は1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしています。再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができます。



見上 政子 議員

見上 国では、地方自治体の実施する原油価格高騰対策に関する特別交付金制度を措置しており、対象経費の2分の1を助成する。対象となる「生活困窮者に対する灯油購入、社会福祉施設、公衆浴場、漁業者」に対する助成がある。この制度を利用し、生

町長 住民税非課税世帯を対象に助成を行うこととし、家族数が多ければ掛かり増しするという論理が考えにくかったことから世帯に対する支援とした。また、「介護施設、福祉施設に対

見上 介護利用料が8月の制度見直しで改正され、年金収入など年120

万円を超えると介護保険施設、特別養護老人ホームなどの1日の食費は、650円から1

介護利用料に補助を

町長 公平性確保のため 補助困難

360円に、ショートステイで年収80万円以下の人をはじめ大半の利用者が収入に比べて月額210円から650円の幅で負担増になる。町として値上がり分の食費を補助する考えは。

この他、精神障害者の自立についての質問がありました。



奈良 聡子 議員

連帯保証人規定の削除を

町長 基本的には 保証人必要

奈良 町営住宅への入居に際し、連帯保証人の確保が必須条件となっているが、身寄りのない高齢者が増加し、保証人を探すのが難しくなっている。2018年に国交省は、都道府県と

政令指定都市に保証人規定の削除を促す通知を出している。なぜ町は未だに連帯保証人の確保が必須条件なのか。

町長 基本的には万が一の時のために連帯保証人が必要だと考えている。

奈良 連帯保証人の存在は家賃滞納の抑止力になっていると思うか。

町長 連帯保証人がいるから無理して払うというこ



町内にある介護施設

町長 国交省の通達を受け、連帯保証人免除等取扱要綱の中で「60歳以上の方」や「障がい者」、「生活保護者」等で連帯保証人の確保が困難と認められる者に対しては、連帯保証人を必要としないことを定めた。ただし、債務等の補償を伴わない「緊急連絡人」を届けてもらうこととしている。

奈良 抑止力にはなっていない。抑止力とか、そういう問題ではないと思う。

町長 地方創生臨時交付金等の活用視野に

町長 このたびの灯油代補助は、あくまでも低所得者世帯の経済的負担の軽減が目的であり、住民税課税世帯は事業対象としないこととした。介護施設、福祉施設に對しての補助に關しては、今後明らかとなる国の地方創生臨時交付金等の活用を視野に入

灯油代補助拡大を

町長 交付金等の活用を 視野に検討

見上 国では、地方自治体の実施する原油価格高騰対策に関する特別交付金制度を措置しており、対象経費の2分の1を助成する。対象となる「生活困窮者に対する灯油購入、社会福祉施設、公衆浴場、漁業者」に対する助成がある。この制度を利用し、生

町長 住民税非課税世帯を対象に助成を行うこととし、家族数が多ければ掛かり増しするという論理が考えにくかったことから世帯に対する支援とした。また、「介護施設、福祉施設に対

投票用紙の郵送を

町長 公職選挙法の規定による

見上 介護度2以上の人や在宅で寝たきりの人、精神障害1級程度の人など投票困難者に対し郵送による投票の権利を保障する考えは。

町長 郵便による不在者投票は公職選挙法の規定で1級から3級の身体障

食費の負担 限度額の見直し	施設入所者		ショートステイ利用者	
	R 3.7月 まで	見直し後 (R 3.8月~)	R 3.7月 まで	見直し後 (R 3.8月~)
年金収入等※ 80万円以下 (第2段階)	390円	390円	390円	600円
年金収入等 80万円超120万円以下 (第3段階①)	650円	650円	650円	1,000円
年金収入等 120万円超 (第3段階②)	650円	1,360円	650円	1,300円

※年金収入等＝遺族年金等の非課税年金を含む公的年金＋その他の合計所得金額



水木 壽保 議員

高齢者の社会的孤立の問題や認知症にかかってしまう方々の増加など、地域における福祉需要はますます増加するものと認識している。厚生労働省によると、令和2年の65歳以上の認知症発生率は17・2%となっており、この発生率で試算すると町では540人くらいが認知症にかかっている

と推測される。認知症の予防については、さまざまな取り組みを進めている。八森峰浜ふくし会では週1回の「通所型サービスA事業」や週2回の「通所型サービスC事業」(＊)、地域包括支援センターでは「認知症初期集中チーム」を設置し医師からアドバイスを受け支援する



水木 町の65歳以上の高齢化率は49・6%と高く、その3人に1人が認知症といわれている。コロナ禍で外出が減り、コミュニケーション不足であることから、認知症が進むのではと心配である。今後の認知症対策は、

町長 49・6%の高齢者のうち一人暮らし世帯の割合が26・2%となっている。高齢化率や一人暮らし世帯の割合は、今後増加が予想され



認知症カフェの様子

事業や「認知症カフェ」「認知症サポーター養成講座」などがある。さらに今年度は、認知症高齢者や知的障害者などの権利を守り支援する「成年後見制度」の利用促進を図る「町成年後見支援センター」の立ち上げを予定しているほか、社会福祉協議会に「町権利擁護センター」を設置するなど、地域における権利擁護支援体制を強化する。

水木 「認知症カフェ」は男性の参加者が少ない。認知症による行方不明者は男性が多いので、地域で見守っていく仕組みが必要では。

町長 老人クラブでも圧倒的に女性が元気に活動している。男性も地域行事や認知症カフェに参加してもらえよう、PRを強化していかなければならない。

＊町から八森峰浜ふくし会へ委託している、トレーニングマシンを使った運動事業。
・通所型サービスA事業
・通所型サービスC事業
・身体機能の回復

町長 権利擁護支援体制を強化

認知症対策いかに



山本 優人 議員

大胆な産業構想の提案を

町長 実現可能な目処がないと出せない

山本 町の農漁業は、米価下落、魚価下落、資材高騰、賃金上昇など苦難続きで、日本の米、旬の鮮魚の下落を容認する食糧政策では、働く場を失った人は都会へ行くしかなく、農村・漁村から都会へと町の人口減少が加速していくことに拍車をかける。まちづくりに必要な強いリーダーシップが理想と考える私からすると、物足りなさを感じる。将来、町の農業・漁業はこうするといった、人口増加のための町の将来の姿を夢見させていない。

町長 若い農業経営者や漁業を鼓舞し、具体的なアクションを起こしながら、町としてもできるだけ支援していく。

山本 職員が自分で、主体的に行動し、柔軟に変化対応している。

く組織にすることが必要。と同時に、業務を理解している町職員と産業界を巻き込んだ事業提案の発想、協議することが、大胆で具体的な産業振興の実現に至る構想を生むと考える。

例えば、生活支援として現金給付するよりも、コメの配布や1町歩田の造成をする等、大胆な政策提案も必要では。



岩館漁港のサーモン養殖試験池

山本 夢と希望がある将来予想図とは。産業が持続的に発展し、地域コミュニティが維持され、高齢になり、障がい者や認知症になっても、元気で住み慣れたところで安心して

誇りを持って暮らせる八峰町であり、「老いていくことに不安や心配がなく、自信と誇りに満ちたお年寄りの声が聞こえ、若者や子どもたちの元気な声が聞こえる八峰町」をイメージしている。

町長 どういう形で見を予算に生かしているのかという部分については、役場職員だけで考えていく手法から、民間意見も予算の中に盛り込んでいけるような時代を迎えていると思っている。

民間の方々が考えている斬新なアイデアを予算に取り込んでいくことも大切だが、私も行政のトップを担う身とすれば、やっぱり実現可能な目処が必要だ。

町長の将来予想図は 自信と誇りの持てる町の実現

山本

夢と希望がある将来予想図とは。

町長

産業が持続的に発展し、地域コミュニティが維持され、高齢になり、障がい者や認知症になっても、元気で住み慣れたところで安心して



菊地 薫 議員

町長 洋上風力を設置してもよい「促進区域」は鹿の浦から5キロメートル離れた南側に建設されることから、風車は私の主観では特に違和感を感じるものではないと思う。



岩盤清掃とギバサ生息調査

●この他、「持続可能なまちづくり」と「未来協」に関する質問がありました。



須藤 正人 議員

町長2期目への挑戦は 町長 再選を目指す

須藤 4年間町政を担い達成出来た事、出来なかった事や八峰町の課題、将来への思いの中で再選を目指す考えは。 町長 1期目の立候補にあたり直面している3つの基本問題とこれらに向かう5つの重点事項、新たな視点の10の取り

令和4年度予算編成は 町長 骨格予算とする

須藤 改選期を迎えるにあたり骨格予算となるのか、通年予算とするのか。合併優遇措置の終了や地方交付税が減少するなかで町財政に対する考えは。 町長 来春町長選挙を控えており、経常的経費や事業を骨格予算として編



未来協の様子

か、また二重行政との声もあるが。 町長 協議会は人口減少や少子高齢化による地域内産業労働力低下に対し、地域事業者が活性化し、雇用の場確保と定住人口の増加、商工業や農業漁業等地域経済の活性化につなげることを目的として設立された。趣旨に賛同した多くの団体や商工業、農業漁業等の若い世代の参加

未来協（*）と 町振興計画との関連は 町長 具体的なアクションプランである 須藤 今回の協議会は地域事業の活性化や雇用の場、農林漁業と移住定住、町の第二次総合振興計画にどう反映させるの

した提案は、第二次総合振興計画の基本構想や計画でなく具体的なアクションプランであり、二重行政とは言えずむしろ町政に反映させる良い機会と捉えている。 *【未来協】 白神八峰商工会の立ち上げによる「町づくりと経済の未来を創る協議会」

新型コロナ対策について 町長 感染症対策の徹底と 経済活動再開

菊地 新たにオミクロン株が日本を含め世界の各地域で確認されている。コロナが蔓延してから2年になり少しは落ち着いていると言われる中現状をどう分析し、どう付き合っていくつもりか。 町長 ワクチンのは2回目接種後原則、概ね8カ月以上経過した人に接種するとされており町営診療所でも準備を進めている。集団接種についても3月上旬をめどに具体的な計画が整い次第情報を

提供する。 今後もアフターコロナに向け引き続き三密の回避、マスクの着用とこまめな手洗いなど感染症予防対策を実施し、経済活動再開に取り組む。



作り育てる漁業の 場所と魚種は 町長 岩館漁港を利用した サーマン養殖等

菊地 日本海の荒海での作り育てる漁業は簡単な事業とは言えず、漁港整備計画の静穏域を利用しての養殖と捉えてよいか。また、この対象となるものは。 町長 八峰町は漁業の町として栄えてきたが水産資源の減少、漁業従事者の高齢化や後継者不足、原油価格の高騰、魚価の低迷など漁業・漁村の衰退に大きな危機感を抱いている。 作り育てる漁業は安全で安定した漁が出来るとは、高齢になっても取り組める事業で、岩館漁港を利用したサーモン養殖始め、ギバサ、ウニ、ワカメ、アワビ、岩ガキ等を予定している。

鹿の浦から見る 洋上風力の景観は 町長 違和感を感じるものではない

菊地 計画されている洋上風力は鹿の浦から見て、どこに配置されても景観を損ねることにならないか。 町長 洋上風力を設置してもよい「促進区域」は鹿の浦から5キロメートル離れた南側に建設されることから、風車は私の主観では特に違和感を感じるものではないと思う。

適切な行財政運営に向けて

(決算特別委員会付帯意見回答)

令和3年9月議会終了後に決算特別委員会から町当局に提出した付帯意見に対する回答が届きましたので掲載します。(※回答は令和3年10月20日現在のもの)

意見1 情報発信の専任 部署設置

ホームページのリニューアル等、情報発信の充実に向け専任部署の設置について検討すること。

回答

ホームページについては、情報は掲載しているものの、なかなか探している掲載情報にたどり着かない場合があるようだ。他市町村のものも参考にし、見やすく、検索しやすいホームページへの更新を検討する。

専任部署の設置については、行政におけるデジタル・トランスフォーメーション(*)を推進する関係法律が制定され、町においても、情報発信のみならず、特定分野の知識や理解能力の高い人材が必要になることが見込まれる。

職員研修等を実施し職員個々のスキルアップを図りながら対応して行きたい。

意見2

診療所の一本化

埴川分院での診療については医療機器等の問題もあることから、バス送迎を充実させるなどし、本院での一本化について検討すること。

回答

町営診療所埴川分院での診察は、新型コロナウイルススワクチン接種への対応のため、3年度末まで診療を休止することとしている。

代替措置として、地域の方々をバスで本院まで送迎し診療を行っているが、バスの乗車時間が若干伸びたものの、おおむね理解を得られていると考えている。

本院での診療の一本化については、埴川分院の医療機器更新に過疎対策事業業債を充当しており、その償還金が令和5年度末までとなつていることを踏まえ、今後、石岡医師の意見も参考にしながら、具体的な時期を検討して行きたい。

意見3

ハタハタ館の指定管理料について

前年の入湯税相当額としていた指定管理料について、利用者の減少に伴い減額となつており、計画的な経営ができるよう定額制について検討すること。

回答

ハタハタ館の指定管理料は平成6年の開業以来、前年の入湯税相当額を指定管理料として支出して

おり、平成20年度の2129万3250円をピークにその後減少し、令和2年度には1333万3500円となっている。

なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により前年の利用者数が大幅に減少したため、令和2年度(令和元年の入湯税相当額)の指定管理料に据え置くこととした。

令和2年度の経営状況は、コロナ禍により利用者数は減少したものの、経費節減に取り組むとともに国等の支援事業を有効に活用した結果、244万円の黒字を計上した。これは、一定の評価に値するが、慢性的な赤字体質を改善できたというものではなく、依然として安心できない状況ではないと考

えている。

町としては、ハタハタ館は八峰町の観光・保養の拠点施設として地域振興に重要な役割を果たしており、安定的かつ計画的な経営のために、指定管理料の見直しが必要であると考えているほか、ハタハタ館からも経営改善計画において管理委託料算定基準の変更が要望されている。

令和4年度に向け、他市町村の状況を調査しながら、定額制を含めた適正な指定管理料を検討していく。

用語解説(*)
【トランスフォーメーション】
変化・変換

令和3年第4回臨時議会(11月30日)

議員、特別職及び職員の期末手当の支給割合を県人事委員会の勧告に準じ0・1ヶ月減額する条例改正等について審議・可決しました。

●八峰町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例を廃止する条例制定

●八峰町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

●八峰町特別職の職員で常勤のものものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定

●八峰町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定

●「八峰町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について」

(全員賛成で可決)

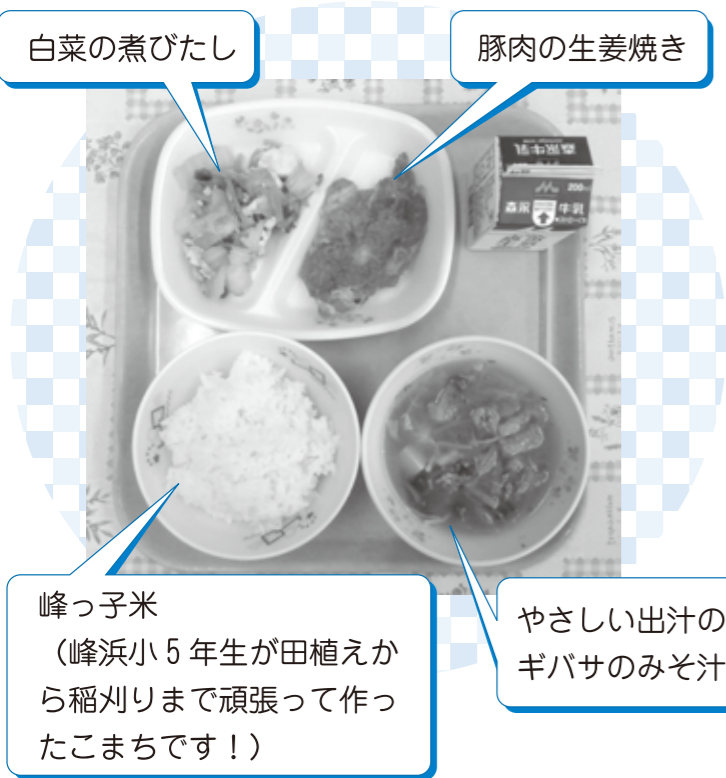
令和4年第1回臨時議会(1月7日)

「子育て世帯への臨時特別給付」を速やかに給付するため、必要な予算の追加補正について審議・可決しました。

●令和3年度八峰町一般会計補正予算(第6号)

(全員賛成で可決)

学校給食を試食しました



12月15日のお昼に、学校給食の試食が行われました。これは減塩給食に取り組む八峰町学校給食センターが、町議会議員と町三役を対象に行ったもので、中学生用の給食を試食させていただきました。能代市山本郡学校給食協議会栄養士部会では、小学生29、中学生2・5g未満の減塩給食に取り組んでいるそうです。物足りないかな?と心配しましたが、食べ応えがあって美味しい!とあちこちから声があがっていました。管理栄養士さんから給食についてお話も伺えて、とてもよい機会となりました。

白菜の煮びたし

豚肉の生姜焼き

峰っ子米
(峰浜小5年生が田植えから稲刈りまで頑張ったこまちです!)

やさしい出汁のギバサのみそ汁

- ① 11月30日（火） 協議3件 報告3件
 - ② 12月23日（木） 協議1件
- 議会全員協議会は、右の日程で開催されました。今回はこの中から2件の協議をピックアップします。

【協議1】
自治会集会施設の
水洗化の推進について

町からの説明

自治会集会施設の水洗化については、補助金により自治会の取り組みを支援している他、町が施設を改築する場合は下水道に接続する排水設備を備えるようにしている。

現在、下水道に未接続となっている境及び大信田地区多目的集会施設は、どちらも境地区農業集落排水事業の着手（平成19年）前に建設されたものである。

検討した結果、町の責任で下水道接続する必要があると考え、令和4年度以降に両施設の下水道工事を実施したい。



「はらみ出し」が指摘された擁壁

議会を傍聴する方へ
感染症拡大防止に
ご協力願います。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴される際は、以下の点についてご協力をお願いいたします。

- 傍聴人受付票への氏名・住所の記入のご協力をお願いします。
- アルコール消毒液の使用やマスクの着用をお願いします。
- 発熱や咳の症状があるなど、体調がすぐれない方は傍聴をご遠慮ください。



今月の表紙
消防出初め式



2年ぶりに開催となった出初式で、新たに入った隊員のラッパが響きました。

3月定例会の日程について
お知らせします

会期は2月25日（金）～3月11日（金）までの予定で、開会は10時からです。本会議以外の日は予算特別委員会を開催しています。

終了時間については、議案数・一般質問者数・進行等によるため未定です。

月 日	曜日	会議名	内 容
2月25日	金	本会議1日目	行政報告、議案審議、陳情・請願
2月28日 ～3月7日		予算特別委員会	令和4年度予算の審査
3月8日	火	本会議2日目	一般質問（6名まで）
3月9日	水	本会議3日目	一般質問（質問者の人数により休会の場合あり）
3月11日	金	本会議4日目	付託議案の審議

議会では町民の生活に直結した重要な問題が審議されております。どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

★団体で傍聴を希望される場合は、議会事務局までお知らせください。

議員から町へ

質疑 境・大信田の自治会への説明はしたのか。

答 自治会長に下水道料金が発生することも併せて説明した。町で工事を行ってくれるのであればありがたい。下水道料金についても差し支えないと返答をいただいている。

【協議2】
岩館地区防災
コミュニケーションセンター
建設事業について

町からの説明

（計画から耐震診断までの流れ）

岩館生活改善センターと第15分団器具置き場の老朽化に伴い、自治会及び消防団から立て替えるの要望を受け、防災コミュニケーションセンター基本設計案を作成した。岩館地区3自治会合同説明会において説明したところ、避難所収容人数の増を求める意見が多く出された。

また、コロナ禍において避難所の在り方が大きく見直され、感染拡大防止との両立を図る必要性が生じたため、現在ある岩館体育館の耐震診断と改修工事を積算し、活用の可能性を探ることとなった。

（耐震診断の結果）

基礎・構造共に耐震構造になっておらず、全面的な補強が必要で、換気や冷暖房等の機能強化を含めた改修工事を行う場合の見積額は約1億6千万円となった。

（町の方針）

岩館体育館は解体し、その上で「防災コミュニケーションセンター」を当初の基本設計案の規模で建設したいと考える。

また、建物の北側擁壁が危険な状態であると指摘を受けたことから、整備エリアの安全性を確保するため、擁壁補修工事をコミュニケーションセンター建設に先がけて実施したい。

議員から町へ

質疑 避難収容人数が少ないことで計画の見直しとなったはず。基本設計案に戻ること、住民の理解は得られるのか。

答 耐震診断の結果と併せて3自治会には説明会を実施済み。住民には自治会長から説明をお願いしたい。

避難所においてコロナ禍で密となることは避けなければいけないが、全町規模で避難所として利用できる公共施設への分散避難を考えて行く。

質疑 現在の体育館脇の、危険な状態と指摘のあった場所はどのような状態か。

答 石垣が外側に膨らむ「はらみ出し」がみられる。地盤を調べてから補修を進める。